

第2回 IMJ 富士山支部 勉強会（鍼灸学会共催）

平成28年1月24日（日）、静岡市にて第2回富士山支部勉強会が行われました。今回は、鍼灸学会との共催で約50名集まり、お互いの学会にとって大いに刺激となった一日でした。

前半は、富士山支部の河合副支部長から“頭痛についての統合医療的アプローチ”をご講義頂きました。「頭痛は自分で治せる」とあり、頭痛の分類と、命に係わる頭痛の見分け方、セルフケアとしての補完代替療法の有効性や、さらには日々の気づきの重要性をお話し頂きました。河合副支部長はもともと脳外科を20年やっておられました。より根本的な治療に関わりたいとのことで、統合医療の道に進まれたというエピソードがありました。

後半は、東京有明医療大学の川嶋朗教授による“統合医療の現状とわが国のとるべき道”についてでした。川嶋先生は統合医療塾の塾頭でもあり、TVでよく見かける有名な先生です。そんな先生のお話を静岡で聞くことができ、より身近に感じられるのは支部勉強会ならではのものです。「日本の医療がいかに遅れているのか話します」という導入から、世界の統合医療の動向と日本の現状、健康情報の多い昨今において医療従事者や患者に求められる意識について熱くお話し頂きました。

また、普段なかなか関わるできない他職種の方々と懇親会はとても学ぶところが多く、それぞれの方が医療者としてより広い視野に繋がったのではと思います。まさに統合医療ならではの醍醐味です。

次回は、H28.7.2-3の土日に山本支部長の手掛ける統合医療認定施設にて宿泊で第3回富士山支部勉強会が行われます。多職種連携としてジャングルカンファレンスを提唱されている小池弘人先生にもご講義頂きます。これは是非、人の健康や治療にかかわる職種の方には参加頂きたい内容です。どうぞ期待！

